

安全運転 ほっとNEWS



平成21年7月号

今月のデータ

357℃

急勾配の下り坂をフットブレーキだけを使用し、時速50kmで下った際のブレーキディスクの温度です。ブレーキは過熱した状態が続くとブレーキの効きが悪くなるトラブルが発生するおそれがあります。



TOKIO MARINE
NICHIDO

(社)日本自動車連盟の実験データより

ブレーキの誤解とトラブル

ブレーキは車になくてはならない部位にも関わらず、正しく理解している人は少ないのではないのでしょうか。そこで、今回は正しいブレーキングとブレーキトラブル、ブレーキの点検ポイントを紹介します。

対 処 法

正しいブレーキング

ブレーキの役割は、車の走ろうとするエネルギーを熱エネルギーに変えて、車を減速させ、最終的には車を止めることです。車を安全にかつ、すばやく止めるためにも、正しいブレーキングをマスターしておきましょう。

① ブレーキングの基本

交差点や一時停止場所などに停止する場合は、まずブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキランプを2、3回点滅させて、後ろの車に停止する合図を送ります。そして減速開

始から停止直前まで一定の力で、ブレーキを踏み込んでスピードを落とし、最後に少し力を抜いて優しく止まるブレーキングを行ってください。

② 危険回避のブレーキング

危険回避には、スピードをすばやく落とすことが重要です。その手助けをする装置がABS（アンチロックブレーキシステム）です。この装置は、急ブレーキをかけてもタイヤがロックせず、理想的なブレーキ力を発揮します。緊急時のブレーキは、まずABSをしっかり効かせてすばやく停止

しましょう。

ただし、ABSも万能ではなく、状況によっては制動距離が長くなります（下図参照）。ABSはあくまでも補助装置と考え、急ブレーキをしない優しい運転を心がけてください。

禁物

ABSの過信は

ABSは急ブレーキ時にも、タイヤがロックせず、ブレーキを効かせることができますが、低速時や砂利道ではABS車のほうが、制動距離が長くなるという実験結果もあるので過信は禁物です。

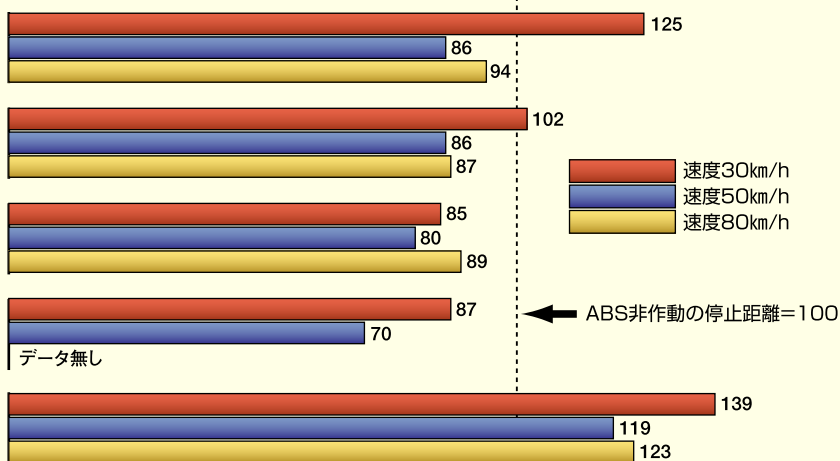
かわいた
アスファルト

濡れた
アスファルト

雪道と同じ
すべりやすさ
の路面

氷と同じ
すべりやすさ
の路面

砂利道



ABS非作動での停止距離を100とし、同じ条件でABSを作動させたときの停止距離（指数）
※JAFユーザーテストより

ブレーキトラブル

長い下り坂でフットブレーキを使い続けると、ブレーキが効かなくなるトラブルが生じることがあります。その代表的なものがフェード現象とベーパーロック現象です。

① フェード現象

長い下り坂などでフットブレーキだけを使い過ぎると、ブレーキが過熱して摩擦力が急激に減少し、ブレーキの効きが悪くなることです。

② ベーパーロック現象

フットブレーキの酷使により、過熱された熱がブレーキ液に伝わり、ブレーキ液内に気泡を発生させ、ブレーキをかけても圧力が伝わらず、ブレーキが効かなくなることです。

もし、万一、ベーパーロック現象が起こったときは、まずシフトダウンしてスピードを落とし、サイドブレーキで停止します。その後はブレーキをしっかりと冷やしてください。



③ ブレーキトラブルを招かないためには

長い下り坂で、フェード現象やベーパーロック現象を起こさないためには、Dレンジからシフトダウンしてエンジンブレーキを主体にして下るようにして、フットブレーキは補助的に使うことです。フェード現象やベーパーロック現象を起こさない運転を心がけましょう。

ブレーキ点検のポイント

ブレーキの故障は、頻繁に起こるものではありませんが、ひとたび起こると重大事故に直結します。小さなトラブルを早期に発見するためにも、以下のポイントに留意して点検を行いましょう。

① ブレーキペダルの踏みしろ

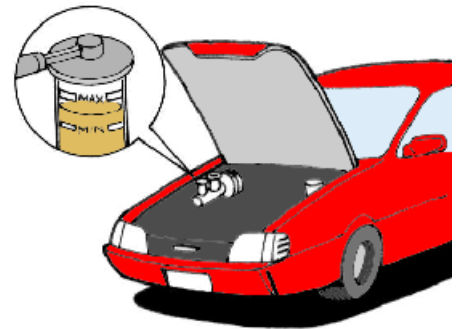
エンジンをかけた状態で、ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルと床との隙間が約4～5cm程度あるか。

② ブレーキ液の量

ブレーキ液のリザーバタンクに規定の液量が入っているか確認する。

③ ブレーキの効き具合

ゆっくり車を走らせ、ブレーキペダルを踏み、いつも通りちゃんと停止するか確認する。



東京海上日動リスクコンサルティング(株)の自動車事故削減プログラム

東京海上日動リスクコンサルティングでは、カメラ付きドライブレコーダを使用した自動車事故削減プログラム(法人向け)をはじめ各種事故削減メニューを取り揃え、ご提供しております。詳しくは、03-5288-6586(担当:西村・阿部)までお問い合わせください。HP (<http://www.tokiorisk.co.jp/>)

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO., LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課